

4 水循環の再生等

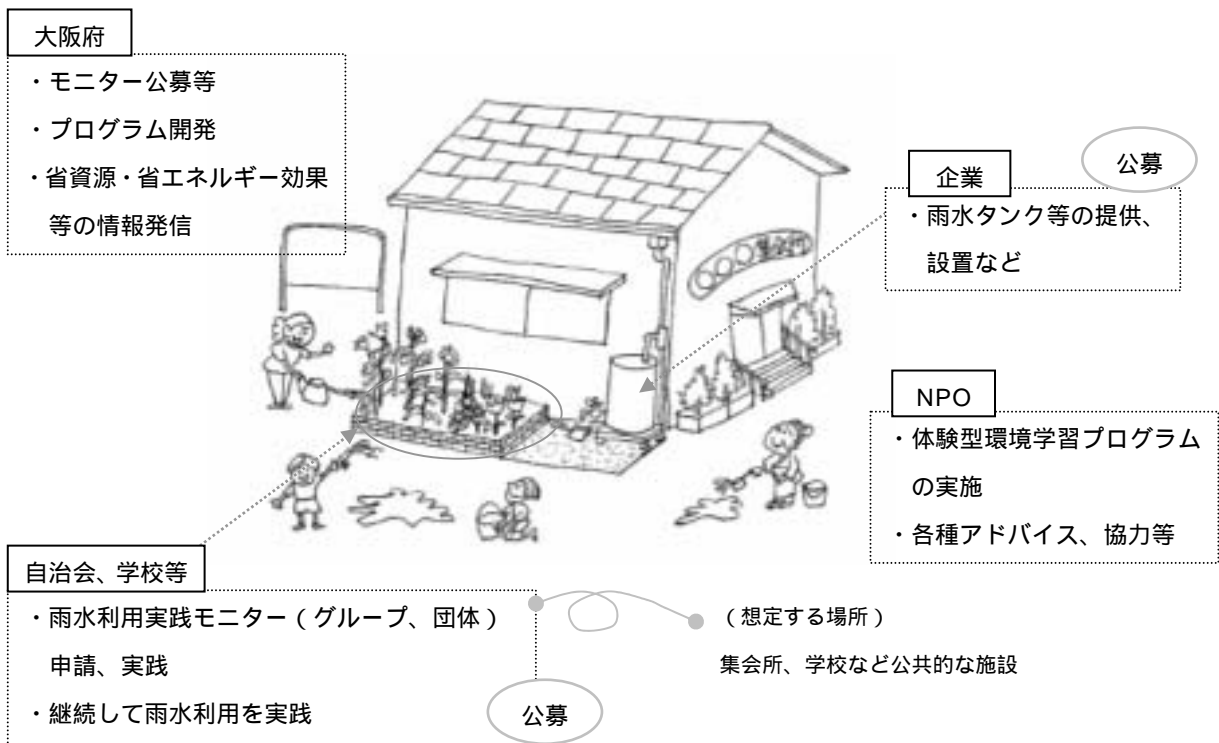
2010（平成 22）年度までに河川水質の環境基準（環境保全目標）を概ね達成することなどを目標に、河川などの水質汚濁の主な原因である生活排水対策を重点的に進めます。

（1）水循環の再生

雨水利用による地域環境活動推進モデル事業（新規）

雨水利用の推進によるライフスタイルの
変革を図るため、企業、NPO 等の協力を得

て、集会所や学校などに体験型の雨水利用の場を創出するとともに、地域住民等から雨水モニターを公募し、地域における継続的な雨水利用の実践を進めます。また、NPO 等と協働により体験型の環境学習を実施します。



<モデル事業のイメージ図>

水の都大阪の再生（新規）

平成 14 年度末に策定された「水の都大阪再生構想」に基づき、観光・文化の振興を図るため、水の回廊の実現を目指し、水辺のプロムナード整備、水辺の緑化整備、水辺と周辺が調和した景観整備、水上交通（舟運）の充実など河川における環境整備を進めます。
寝屋川流域清流ルネッサンス

国の都市再生プロジェクト第 3 次決定として、「水循環系再生構想の策定」が決定し、モデル流域として寝屋川流域が選定されたことを受け、流域 11 市で構成する寝屋川流域協議会が平成 16 年 5 月に策定した「寝屋川流域清流ルネッサンス（水環境改善緊急行動計画）」により、下水道の普及促進や高度処理の推進などを行うとともに浄化用水

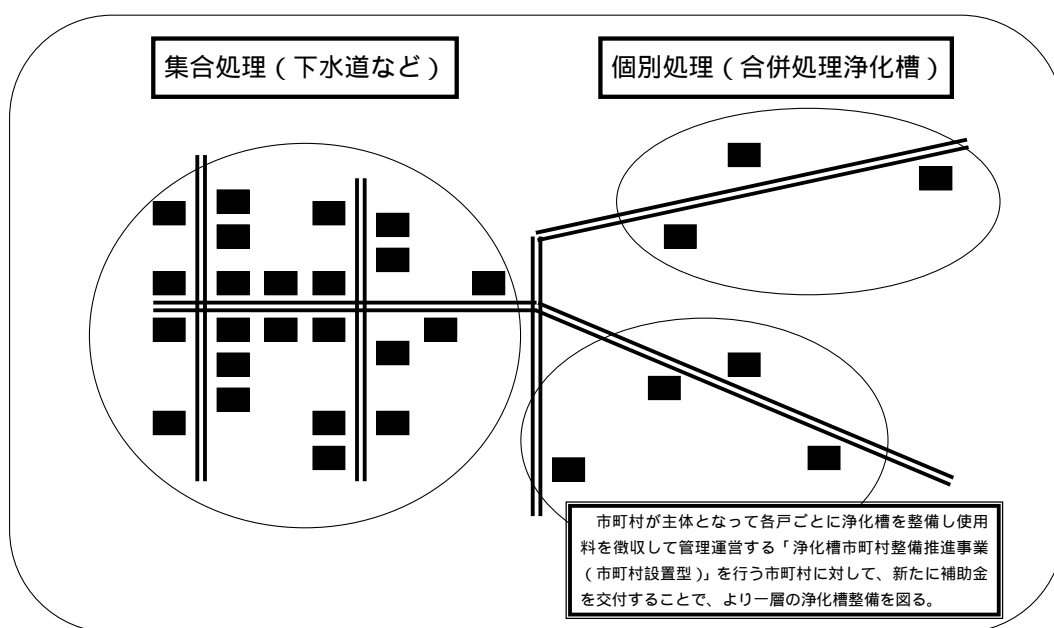
の導水や浄化浚渫・植生浄化などにより、水質改善と水量確保を図るとともに水辺環境の整備を行います。

(2) 水環境の保全

浄化槽市町村整備推進事業(市町村設置型)を実施する市町村への補助(新規)

生活排水対策やトイレの水洗化による生活環境の改善に有効な合併処理浄化槽の設

置をさらに促進するため、平成4年度から実施している「浄化槽設置整備事業(個人設置型)」を実施する市町村への補助金に加え、市町村が主体となって各戸ごとに浄化槽を整備し使用料を徴収して管理運営する「浄化槽市町村整備推進事業(市町村設置型)」を実施する市町村に対しても、新たに補助金を交付することで、より一層の浄化槽整備を図ります。



<都市部郊外における効率的な生活排水処理施設のイメージ図>

今後のし尿及び浄化槽汚泥処理方策のあり方検討(新規)

府域では、多くのし尿処理施設で老朽化が進んでおり、これら施設の再整備が急務となっています。このため将来にわたる浄化槽汚泥やし尿の安定的で効率的な処理を確保するため、今後の処理方策のあり方について有識者や関係市町村とともに検討を行います。

合流式下水道の改善(新規)

雨天時に汚水の一部が未処理で河川等に放流されることを改善するため、平成16年度に策定した「大阪府流域下水道合流式下水

道緊急改善計画」に基づき、緊急改善事業に着手し、公共用水域の水質改善を図っていきます。(流域下水道:複数の市町村の汚水をまとめて処理する下水道 合流式下水道:汚水と雨水を同じ管で流す下水道。)

流域下水道事業の推進

河川などの水質汚濁の主な原因である生活排水対策のために、流域下水道の幹線管渠、ポンプ場、処理場の整備を推進します。処理場においては、富栄養化の原因である窒素・リン等を除去する高度な水処理施設の整備を推進します。

海の森づくり活動推進事業

平成16年度に実施した浜寺水路におけるコンブ育成実験等の結果を活用し、大阪湾の湾奥部を中心に、生物層の貧弱な直立護岸における生態系の回復や水質浄化を図るとともに、府民の大阪湾への関心喚起を高めるため、府民参加型のコンブ育成実験やミニ人工干潟実験を実施します。

また、りんくうタウン沖では、ボランティアダイバーを中心に、海のゆりかごと呼ばれ、稚魚の育成場や餌場となるアマモ場の保全と再生を目指したアマモ移植実験を実施します。

大阪湾再生行動計画のフォローアップ

国の関係省庁や大阪府をはじめ、9府県市などで構成する「大阪湾再生推進会議」に参画し、平成15年度に策定した「大阪湾再生行動計画」のフォローアップを行います。

大阪府生活排水処理実施計画の推進

平成14年度に策定した「大阪府生活排水処理実施計画」に基づき、地域特性に応じた効率的かつ効果的な処理施設整備を進めるため、市町村による生活排水処理計画が早期に策定、見直しされるよう働きかけます。